

2016年5月5日木曜、朝活かみいち特別版について

◆ 今回は、特徴尽くめの朝活特別版となりました。まずは参加者ですが、27人(そのうち町内10人)と歴代タイ、新人は11人と新記録でした。では早速、様子を述べてみます。

朝活はいつも7時から8時の開催のため、小さなお子さんのおられるママさんたちが参加しにくいとの声が以前からありました。たまたま、5月第一木曜が5日の祝日でしたので、朝の多忙な方々に参加ができるよう、朝ではなく午前の開催として、9時20分から11時30分までの開催となりました。そのかいあってこれまでとは違って、多数の初めての方が参加されまして、開催日と開催時間を祝日モードにした効果がありました。

今回は話題提供を二部構成にし、昼にはランチ、午後にはオプションツアーもあり、盛りだくさんになってました。

◆ トップは三浦さんが進行役。三浦さんが「考古学が取り持つ縁」と題して、氏が「なぜ考古学に惚れ込んで今があるのか、なぜ考古学を天職としたのか」から話が始まりました。もともとはギターが好きでその道に進みたいといつておられたが、そのうち原始時代の石器に出会って自分の道は「これだ」と直観し、考古学ができる大学を選択し、富山におこしになられました。その後、岡山に行き道を極めたとか。就職は上市に縁があってのことだそうです。

上市での仕事は主に考古学ですが文化と名の付くものはすべてやっているとのことです。話題提供の後半は、上市における石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代・古代・中世と駆け足でのべられた。

◆ ネクストは久我さん進行役。細腕繁盛記ならぬ太腕物語として、ボランティア活動、本業のコンビニ業、おもてなしの真髄が話されました。子どもの頃は引っ込み思案でしたが、学校時代に恩師に出会い、自分が変わったとのことでした。縁あってコンビニ業に従事し、サークルKでおでん販売全国一9連覇を達成されました。

その一方で、PTA活動やおもてなし活動をしておられる。いくつからい話を記しますと;自分で自分背中を押す。地元密着でコンビニを介して地元とかかわる。などです。

◆ 昼のランチでは、会場提供のエムクラウドのマスターが腕によりをかけて作ったランチを皆さんで食しました。なごやいだ歓談の昼食でした。

◆ その後、参加者は二手に分かれ、半分は会場に居残り談笑を楽しみ、残り半分(13人)はオプションとしてアニメおおかみこどもの花の家に見学に行きました。花の家では、連休中に呈茶サービスがあり、一同はお抹茶で花の家の何とも言えない雰囲気を静かに堪能いたしました。

◆ 今回は祝日であり、晴天にも恵まれたこともあって、皆さん、陽気に振舞い、楽しいひと時となりました。写真は、会場、ランチ、花の家の三部作で構成してみました。ご参加された皆様、お疲れ様でした。

